

設立おめでとくございます。

学術コミュニケーションのエコシステムを多様な観点を知ることができました。

今後の展開を期待しています。ありがとうございました。

貴重な機会とありがとうございました。

理想の共有、共感の必要性を感じました。

学術情報に関わりの様々な立場の方のお話を聞くことは
中々ないので、大変刺激的でした。

オープンサイエンスにありあけ中、図書館はもう少し高い視点を

もちたい。このセッションに参加しましたが、思った通りの

ありがとうございました。

製菓会社で少し学術情報にかかわっている。

とても勉強になりました。

本日の資料を公開してほしいです。

プレゼンターの皆様の興味深いお話がとても面白かったです。

学術コミュニケーションについてもっと勉強したいと思いました。

今後とも応援しています。貴重な機会をありがとうございました。

今日の内容を職場にも共有していただきたいと思います。

ありがとうございました。

様子の準備からのお話しと聞かせていただき
とても勉強になりました。

OA、学術情報、流通の図書館への浸透しきくお話しが
なによりも印象的でありました
様々な事例やノウハウを共有いただきありがとうございました
色々と今後のために勉強になりました。

大変面白い、非常に刺激的な会でした！
永井さん 尾城さん ありがとうございました！

(JPCOARのワークショップが浮気しすぎたこと(笑))

いろいろな方面の専門家のご意見や目指してこられたこと
個人的に思っていることを聞けず、目からうろこ
という感じでとても勉強になりました。

これからのステップが Scholarly.org のチャレンジを
応援していただきたいと思います。

がんばって下さい！

本日の資料を、参加者に後日配布して
いたけるとありがたいです。

→ 2x7"の講演も面白かったです
(特に)
他の講師の先生方の講演も面白かったかも。

違う立場の方とお話できて良かったです。

お立場によつて OA の見え方、考え方、プロセスの計画や実行の思...
対話を通して 互いに 知る = 活かす = 思... 可

引原先生のお話と共感してました。

異なる分野や U3N3 の教室の方が "私" の "わ" を "と" して

新しい発見や新しい分野が 知識の "と" になる。

出版社として 発表の場を提供するお立場の "と" になると思... 可

広く学術コミュニケーションのエコシステムを見渡すきっかけとなる
場を設けていただきありがとうございました！

横浜まで来たか良かったです！ (対話をするならやはり対面ですね)

大変面白い会でした。
ありがとうございました。

日頃仕事をやる中で
既存の組織・体制では
限界が「あつ」ように感じることが
たくさんあります。

今日異なり立場の方々の
お話を聞いて、
直接何か解決するということでは
ないとは思いますが
何かヒントは「得」られたと
感じました。
ScholAgoraのことか「う」し
わかった「気」もします。

上手くまとりませんか
「あ」は今日の会か
「と」も「あ」しか「あ」！という「あ」を
お伝えしたいです。

今日は、フォーラムに参加させていただき、貴重な講演を
聞くことができました。誠にありがとうございました。

元々、2022年の国立大学図書館協会のイベント
での引原先生の基調講演に感銘を受け
参加したところだったのですが、^{その}6名の関係者の
ご縁、全ての講演で大変刺激を受けました。

スカラゴラの入会も検討させていただきます。

改めて、今日はありがとうございました。

Scholagora 創立 おめでとうございます、

普段なかなか知ることのできない

様々な立場の方のお話をきけて よかったです。

これから 多くのことを知り、考えていく必要を感じました。

そして同時に、今すぐできることからだけでも
実際に動いていこうと思いました。

これからも よろしくお願いいいたします。

Scholagora の オープン！
とてらぶらむ！

持続可能な学術情報流通がどうあるべきか

OA はその一つの手段と思っております

一方で、それ以外のアクターが異質思想を持った、

同僚異業の通知であると思っております。

☞ Scholagora が それをまとめる一大コミュニティの存在ことを期待します。

様々な立場の方々から見た学術コミュニケーションの話がとても面白かったです。
とくに、スタートアップのお話について、印刷会社がこのデジタル社会で
何をやるべきにあるのか、参考にしました。

ありがとうございました。

様々な立場の方々の話が聞き易く強いに
+ + + + +

とにかく様々な分野の方の話が聞けてもりたくさんで
自分の中で消化するのが大変ですが、どれも興味深く
聞けて良かったです。

大変勉強になりました。

引厚足量の著書で研究とは大きな幹で、知と力の枝が
論文という実がはると考之れた。

論文という実を評価するのではなく、木や枝を評価する
事が重要ではないかと思いました。

数をこなすより質を高める方が
場外で成功すると思う。